

ここが聞きたい!!

7名が登壇

管理費の削減・公平な負担！

小田 貞利 議員

問 現在、浄化槽設置の申請は、柳井環境保健所に届け出て、建物の延べ面積により槽が決定される。130㎡をこえる場合、1人ぐらしでも7人槽となる。権限委譲を行



い本町に合った基準を作り、循環型社会の推進と、利用者の負担軽減を目指すべきでは。

答 権限委譲を受けても、建築主事も置いておらず、町独自に決定することは困難。

問 集合処理利用者と合併処理利用者では、年間の維持管理費が2倍くらいの負担差が

ある。対応は。

答 現在の下水道使用料の基本料金部分は他の近隣市町に比較し、40%程度低い。独立採算の原則から、今後料金改定は必要と考える。

問 合併浄化槽の保守管理は町内2業者で、地区が指定されているため利用者に選択権がない現状。町は今後どう考えるか。

答 汚泥の引き抜きは、2業者が業務を行い料金は一律。柳井市は、3業者で料金は一律。

問 集合処理の管理者への委託料は、約1億円と膨大。業務委託方法、委託金額等は妥当か。

答 日本下水道協会が定める維持管理積算要領に基づき算出。適切と考える。

下水道利用者と合併槽利用者の公平な負担が望まれる。維持管理経費の削減を行い、町民の負担軽減を望む。

急がれる沖浦・安下庄線の整備！

松井 岑雄 議員

問 日見～志佐間、秋～安下庄間の県道は何十年も変化のないまま放置され、道幅も狭く、カーブも多く危険。拡幅工事の将来ビジョンを問う。



答 大島環状線は現在、戸田、出井、古城地区の事業を行っている。この事業の目途がたった後、検討、協議等を経て事業効果の高いものから計画し、県に要望していく。

問 秋海岸、戸田地区の消波ブロックの設置計画は。

答 秋地区は、現在施工中の沖浦港家房地区の事業が完了後着手する予定。戸田地区は、沖

浦西港海岸高潮対策事業の計画がある。

問 出井海岸、津海木海岸の離岸堤設置・補修は。

答 出井海岸の離岸堤の設置、補修の計画はない。津海木地区の離岸堤の設置計画はあるが、実施時期が不確定なため、今後引き続き要望してゆく。

問 子宮頸ガン予防ワクチンの助成を行う自治体は、114まで増えている。本町における中・高生以上の予防ワクチン対策は。

答 厚生労働大臣が平成23年度予算要求で、公費助成を要求する方針と聞く。国の動向を注視し、23年度からの公費負担の方向で検討をする。



大島環状線（沖浦地区）